

# まち体験

## ① 役場で受付して、住民になる

## だかねランドに来たら…



だかねランドに初めて来た子どもは、役場で町民証と缶バッジを受け取り、だかねランドの一員になる。

だかねランドに来ると、1人1日10ダガネの税金を納めることになっている。納められた税金は、公共事業や役場などで働く人のお給料として使われる。

## ② だかねランドで何をするか決める

### 1. 工房・工場で働く

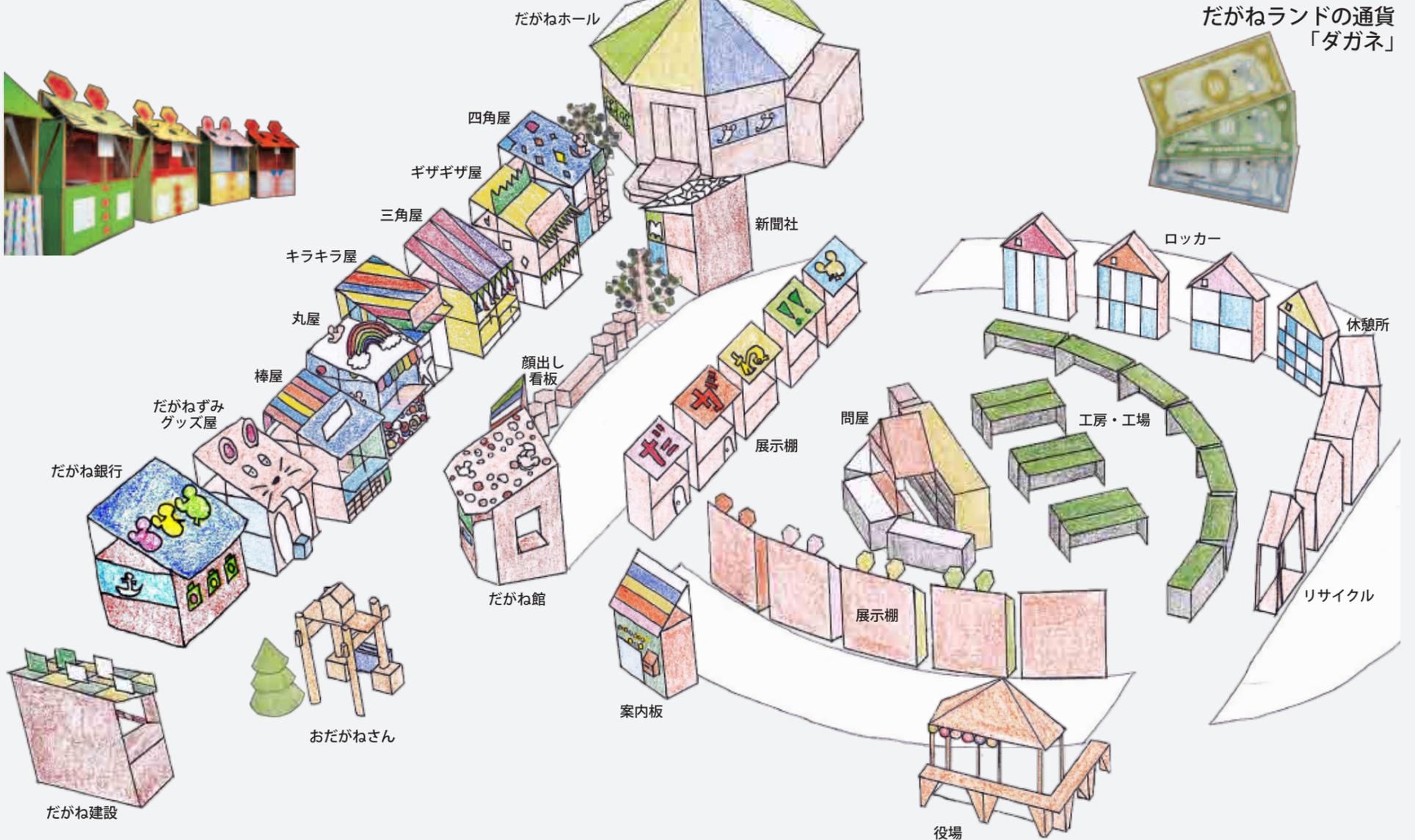
お店で売っている商品は、道具がそろっている工房・工場でお店にあわせて商品をつくり、問屋に納める。

工房では、自分のダガネで買った材料を使って、工夫して、オリジナルの作品をつくる。製作者は、作品の名前や売り、使った材料などを問屋カードに記入し、工房長に見せる。問題がなければ、工房長のハンコがもらえる。作品はカードと一緒に問屋に買い取ってもらい、製作者にダガネが支払われる。最初に材料を買った分より、高く問屋に買ってもらうれば、もうけたことになる。



工場で働く人は、いくつかの決められた商品をつくり、一定時間働いたら、給料がもらえる仕組みになっている。

## だかねランドの通貨「ダガネ」



## 2. お店屋さんになる

だかねランドのお店屋さんには、そのお店のかたちになっている。資本金をもとに問屋で商品を仕入れ、仕入れた商品の売り値を決めて売る。お店の売上げから資本金を引いたもうけを、店員で分けて、給料にする。新聞社は、取材をして新聞をつくり、販売する。

## 3. 役場や銀行など、商品を売らない施設で働く

だかねランドには、役場や銀行のように商品を売らないが、まちに必要な仕事がある。この仕事をするとお給料がもらえる。

## 4. まちを使い易く、魅力的にする(公共事業)

ベンチを作ったりお店屋さんや施設の修理をしたりする公共事業で働いてもお給料がもらえる。公共事業で何をやるかは、まちの課題によって毎日変わる。

## 5. アーキテクチュウ試験を受けて、資格をとる

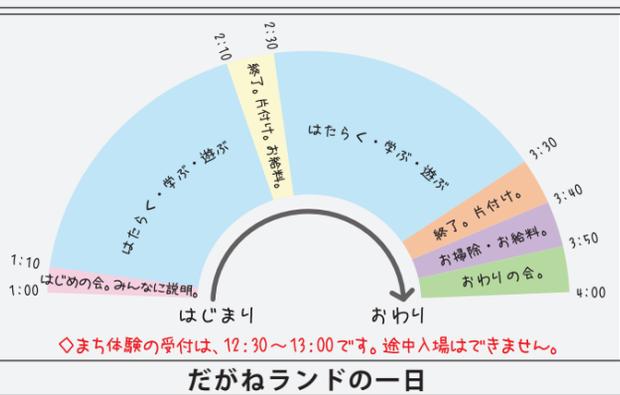
建築やまちづくりについての知識を問う「はかせ」試験、道具の使い方や丁寧さを身に付ける「たくみ」試験の2つが用意されている。この試験は、それぞれ5級から1級まであり、持っている級が上がると、まちでできることも増える。3級以上では、「はかせ」と「たくみ」の両方を取得すると「アーキテクチュウ」の称号がもらえる。

## 6. お店で買い物をする

お客さんとして、お店で商品を買うことができる。「ダガネ」をつかって買い物ばかりでは無くなってしまふ。ダガネが無くなる前にきちんと仕事をして、ダガネをかせぐ必要がある。子どもたちが考えに考えて力を合わせてつくったまちだ。住民の人たちにはうまく使いこなして欲しいと望んでやまない。

## ③ 片付けして給料をもらう

毎回、最後には、片付けをする。お店屋さんの中も、工房・工場も、使った道具は道具箱へ、残った材料はリサイクルセンターへ片付けることになっている。片付けができれば、お給料がもらえ、お店の売上げを計上する。



だかねランドの一日